

「NPO と行政との連携・協働研修会（仮称）」企画（案）

◆ 目的と狙い

各都道府県における「ボランティアとの連携・協働体制」を作ることを目的に、連携の必要性を学ぶとともに、ワークショップ等を通じて都道府県での具体的な取組を促し、関係者間のネットワークを強化しながら、自発的な取組の継続を促進することを狙いとする。

◆ 実施概要（案）

主催：内閣府（防災担当）と開催都道府県（地域の事情によっては政令市も可）

日時：未定（1日開催を予定。日程調整が整った地域から順次開催。）

開催地：5つ程度の都道府県で開催を調整。7/24 予定の都道府県・政令市課長会議にて開催検討を依頼。

※既に開催希望の打診を受けている都道府県：岐阜県

参加者：（50～150名程度を想定）

アドバイザー、ファシリテーター：（有識者及びWS経験のあるNPO等を想定）

◆ 参加対象者

- 都道府県及び市区町村職員（災害時にボランティアとの連携が想定される全ての部署）例）防災・危機管理部署、土木・建設部署、福祉・健康部署、市民協働部署、産業振興部署
- 都道府県・市町村社会福祉協議会
- 地元のNPO・ボランティア団体
- 被災者支援に関わる多様な主体（企業・協同組合・土業関係団体等）

◆ 内容

- 連携・協働の必要性を学ぶ講義
 - 有識者・行政・社協・NPO関係者等（検討会委員を中心に選定）による講義
 - 講義の際には、連携・協働の取組が進んでいる地域の紹介を含める。
- 開催地での取組紹介
 - 開催都道府県、社協等による紹介
- 連携体制の構築を目指すワークショップ
 - 双方向性を担保した参加者間でのやり取りが行われる環境に配慮
 - ラウンド形式のワークショップなど、話しやすい環境を演出